

文部科学省 平成20年度採択 教育 GP

ICT を活用した教育の国際化プログラム

教育の国際化をめざして シンポジウム

大学教育の質の向上が叫ばれるなか、さまざまなバックグラウンドをもつ学生が交わることによって、多様な価値観を理解し、考動することのできる若者を育てることが大学に求められている。また昨今の経済状況や少子化の問題を考えると、海外から訪れる優秀な人材とともに、活気ある社会の再生に向けた努力も必要である。そのようななか、日本人大学生の「内向き」志向が懸念されており、高等教育機関における留学の位置付けは、これまでにない重要性を帯びつつある。本学の平成 20 年度教育 GP では、ICT を活用した留学支援プログラムを推進してきた。本シンポジウムでは、その成果について報告するとともに、昨今の状況も踏まえつつ、いくつかの大学での留学支援策も聞きながら、グローバル化に向けた大学の今後のあり方を考えたい。

PROGRAM

司会：関西大学外国語学部教授 **山本 英一**（本取組担当者）

開会の挨拶

関西大学副学長 **上島 紳一**

I 基調講演 13:00~13:45

『大学の国際化と留学について』

北アリゾナ大学副学長 **Dr. Harvey Charles**（同時通訳あり）

II 取組総括及び実践報告 13:45~14:45

- 本取組担当者による取組総括
- 留学経験者による実践報告

休憩 14:45~14:55

III パネル講演 14:55~15:55

『海外留学を応援する立教大学の全学共通カリキュラム英語プログラム』

立教大学異文化コミュニケーション学部教授 **鳥飼 慎一郎** (20分)

『大学院学生にとっての留学の意義と留学プログラム』

大阪大学大学院工学研究科教授 **福井 希一** (20分)

『国際的に活躍できる薬剤師及び研究者・技術者の育成をめざして』

武庫川女子大学薬学部教授 **野口 ジュディー・津多江** (20分)

IV パネルディスカッション 15:55~16:15

パネル講演者によるディスカッション

日時 2月18日(金) 13:00~16:15

場所 尚文館1階 マルチメディアAV大教室

参加費：無料 定員：200名

■参加申込方法：件名に「教育の国際化をめざして」とご明記の上、氏名・所属・連絡先を右記 FAX 番号もしくは Mail アドレスまで送信してください。



〈お問い合わせ〉

関西大学 GP支援グループ

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号
TEL.06-6368-1121(代)(内線4794)

FAX.06-6368-1353 Mail:gpshien@ml.kandai.jp